

琉球大学・総合地球環境学研究所・国立研究開発法人科学技術振興機構 共催

LINKAGE 国際シンポジウム 2026

サイエンスアゴラ in 沖縄 × 水と島じま

「陸と海をつなぐ ～サンゴ島の持続可能な未来へ向けて～」サイドイベント

クロストーク サイエンス × 水辺の民話

2026年 10月10日(土) 13:00~15:00 (12:30 開場)

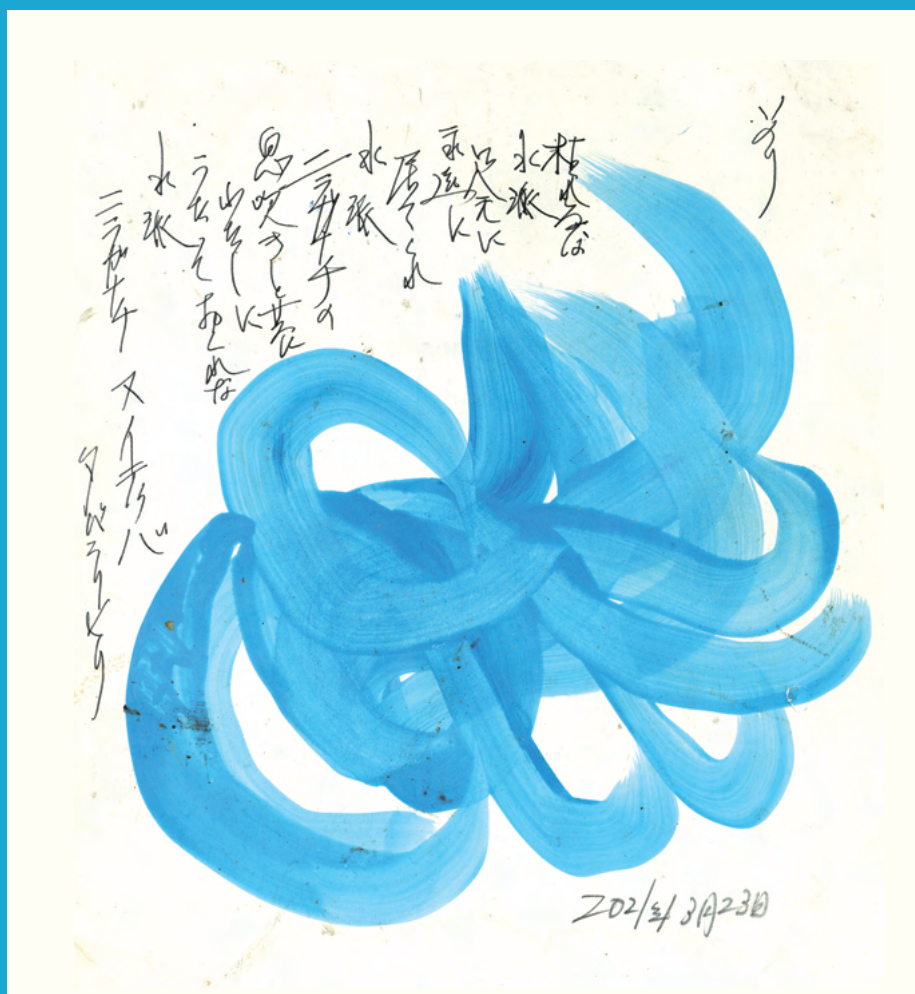
琉球大学附属図書館 本館 2 階 ラーニング・コモンズ

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原字千原1番地

共催：沖縄伝承話資料センター、琉球大学、総合地球環境学研究所、国立研究開発法人科学技術振興機構

わからんこ えぬこ げんがてん

工房なんたむら 和歌嵐香 N子 原画展



原画展&クロストーク

水のめぐりと
島のくらし

—— 与那国島からの絵手紙

2026年
10月24日(土)
26日(月)
28日(水)

10:30~18:00

沖縄県立図書館 4 階
交流ルーム

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20番1号

共催：琉球大学、総合地球環境学研究所
国立研究開発法人科学技術振興機構

いのり 2021 年

入場無料

事前申し込み不要



Research Institute for
Humanity and Nature
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構 総合地球環境学研究所



国立研究開発法人
科学技術振興機構

原画展&クロストーク

水のめぐりと島の暮らし — 与那国島からの絵手紙

工房なんたむら 和歌嵐香 N子原画展

台湾が見える与那国島に伝わる大地・海・天をつなぎ、すべてに感謝する暮らしの知恵をアートで表現。和歌嵐香 N子の原画展を中心に、水と暮らしをテーマの座談会を開催します。地球研(総合地球環境学研究所)LINKAGE(リンケージ)プロジェクトで5年間取り組んだ研究成果の発表をかねます。サンゴ礁の恵みに生かされてきた奄美沖縄やインドネシア等の島々で、陸と海をつなぎ水のめぐりと、暮らしの中ではぐくまれてきた生物と文化の多様性をめぐって地域のみなさんと進めてきた研究です。はるかな昔から島の暮らしを支えてきた、ゆたかな資源とそれをかしこく使う知恵のかずかずを、島に暮らし私たちがどうすればそこなわずに未来に手わたせるでしょうか。気候や社会の大きな変動の中でも、島々が生きのびる道をいっしょに探検してみませんか。

クロストークプログラム

ホスト：安溪貴子*・安溪遊地*

沖縄県立図書館4階 交流ルーム

01 「アートと島の宇宙観」 10.24 (土) 15:00 - 16:30

渡久地 健* (元琉球大学准教授)

02 「水のめぐりと生物文化」 10.24 (土) 17:00 - 18:00

当山 昌直* (沖縄両生爬虫類研究会会長)

03 「漂流民が結んだ島々」 10.26 (月) 15:00 - 16:30

波照間 永吉 (名桜大学特任教授)

04 「生物文化を若者に手渡す」 10.26 (月) 17:00 - 18:00

盛口 満* (沖縄大学学長)

05 「言い伝えは未来へのことづて」 10.28 (水) 15:00 - 16:30

高橋 そよ* (琉球大学准教授・LINKAGE 生存基盤ユニット長)

安里 恵美 (琉球大学大学院地域共創科院生・こえるまなび研究所)

* 地球研 LINKAGE プロジェクト共同研究員 (生存基盤ユニット)

作家プロフィール

和歌嵐香 N子 (わからんこ えぬこ 1954-2025)

与那国島で生まれ育ち、島のお年寄りから伝承を託された。ぼうだいな島の言葉と伝承の数々を4000枚の語彙カードや1000枚におよぶ絵等で記録し、36年間にわたって安溪夫妻に送り続けてきた。

クロストークホストプロフィール

安溪貴子 (あんけい たかこ)

生態学・民族植物学専攻。山口県立萩看護学校非常勤講師。理学博士。主な著作に、『森のひととの対話—熱帯アフリカ・ソングーラ人の暮らしの植物誌』(2009)『ソテツをみなおす』(2015)など。

安溪遊地 (あんけい ゆうじ)

人類学・地域学専攻。山口県立大学国際文化学部名誉教授。京大理博。主な編著に『西表島の農耕文化—海上の道の発見』(2007)『島と海と森の環境史』(2011)など。



命つなぎの女神 2021 年

お問い合わせ

総合地球環境学研究所 LINKAGE プロジェクト | メール: rihn.linkage@chikyu.ac.jp